

千曲市ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップってなに？

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が全国各地で発生しています。そのため、ため池ハザードマップは、ため池が決壊した場合の浸水区域を想定し、近くにお住まいの皆様が速やかに避難できるように作成したものです。また、地域全体の防災意識を高めてもらう事を目的に作られています。

ため池決壊以外の事象については、「千曲市防災ガイドブック」に掲載されていますので、確認しましょう。

ため池ハザードマップをつくろう！

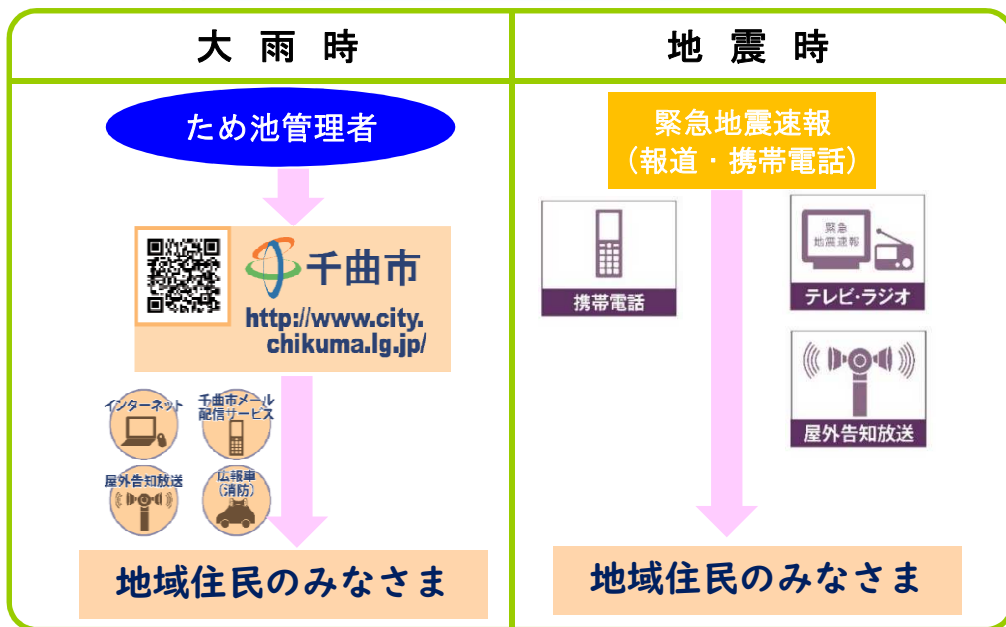
このマップは、ため池が満水状態から堤体が決壊した場合の浸水の深さを示したものです。浸水の程度や範囲は雨の降り方や土地の形態、隣接する河川の状態により変化するため、常にこのマップのような浸水がおこるわけはありません。想定よりも広い範囲への浸水や深い浸水、浸水想定区域外への浸水が発生する場合がありますので、ご注意ください。

皆様へ配布する時点では、このマップは未完成ですので、下記の①～⑦を確認して家族や地域の皆様と一緒に話し合いマップをつくりましょう！



- ①マップに自宅や勤務先・通学先に印をつけましょう
- ②印をつけた場所から、氾濫範囲外に何分で出られるか確認しましょう
- ③洪水到達時間内に安全な場所へ出られない場合は、高台など一時避難先を決めましょう
- ④家族で指定避難場所を決定して、マップに記載しましょう
- ⑤安全な避難経路を確認しましょう
- ⑥いざという時の連絡先、集合場所などを決めておきましょう
- ⑦非常持出品を準備しましょう(チェックリストを参考に)

情報伝達経路



地震による決壊に注意

地震発生から、管理者がため池の異常を確認に向かうまでには時間がかかってしまい、確認前に決壊する可能性が高いため、大きな地震が発生したら「決壊するかも」と意識し、避難行動を始めてください。

地震発生

緊急地震速報
(予想震度4以上)

ピロポローン
ピロポローン

危険と判断したら
早めに自主避難！

避難準備情報等が出されていない場合でも、危険や不安を感じたときは、自主的に避難しよう。

逃げ遅れたら、生命を守ることを第一に！

堅牢な建物の高い階(斜面の反対)などに、急いで避難しよう。

※ため池の情報を把握し、緊急時の迅速な避難行動につなげる対策の一つとして長野県ホームページに掲載しています。

アクセスはこちら→

長野県ため池監視システム

検索



わが家の避難場所

避難先を記入して、万一の災害に備えましょう。

避難先	地震時	大雨時	
指定緊急避難場所			
指定避難所 (2箇所以上)			
家族の連絡先	氏名	電話番号(勤務先・学校)	携帯電話

防災関係機関連絡先一覧

名称	TEL
千曲市役所	(026) 273-1111
千曲坂城消防本部・戸倉上山田消防署	(026) 276-0119
更埴消防署	(026) 274-0119
千曲建設事務所	(026) 273-1720
千曲警察署	(026) 272-0110
千曲市西部土地改良区	(026) 214-2569
中部電力 篠ノ井営業所	(026) 234-9518
長野都市ガス	(026) 292-1189

火事・救急
☎119

警察
☎110

災害用伝言ダイヤル
☎171

発行



千曲市 経済部 農林課

令和3年4月発行

〒387-8511

長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地 千曲市役所

電話：026-273-1111

http://www.city.chikuma.lg.jp/



自助・共助・公助

大災害が発生した場合、被害が非常に広範囲に及ぶため、地域の防災機関による防災・救援活動だけでは十分に対応できません。災害による被害を最小限にするためには、自助・共助・公助の連携が重要です。

平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防などの公的機関の救助によって救出されたのはわずか2%でした。多くの住民は、自力または家族や隣人などの地域住民によって救出されました。災害直後は、いろいろな所で被害が発生し、全ての災害現場に公的機関の救助が駆けつけることは不可能になります。

自助
自分の身は自分で守る

共助
自分たちの地域は自分たちで守る

公助
行政や防災関係機関による救助・援助等

連絡方法の確認

- ◎災害時は誰に連絡するかを確認しよう。
- ◎どの連絡方法を利用するかを確認しよう。
- ◎安否確認には災害用伝言ダイヤル「171」などのサービスを利用しよう。

体験利用日に試してみよう！ 171 ガイダンス

録音 1 再生 2

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
伝言を吹き込む(30秒以内) 伝言を聞く

「171」体験利用提供日 毎月1日・15日 防災週間(8月30日～9月5日)

防災・災害情報の確認方法

- ◎ラジオはすぐに取り出せる場所にあるか確認しよう。
- ◎千曲市メール配信サービスの事前登録をしておこう。

子どもの引き取り者の確認

- ◎災害時に保育園・幼稚園・学校における、子どもの引き取りに関する取り決めを家族や親類で確認しておこう。

非常持出品

避難時に持ち出すもので、最低限必要なもの。

飲料水・非常食	日用品	医療品
飲料水(1人1リットル程)	タオル	持病薬
非常食(調理不要のもの3食)	石鹸	体温計
防災用品	ティッシュ	解熱剤・かぜ薬・胃腸薬
携帯電話・充電器	ビニール袋	ばんそうこう・包帯・傷薬
懐中電灯	安全ピン	おくすり手帳
携帯ラジオ	歯ブラシ	貴重品
予備の電池	上着	現金(紙幣・硬貨)
ヘルメット・防災ずきん	下着	印鑑
マッチ・ライター	筆記用具	預金通帳
ローソク	生理用品	身分証コピー
軍手・手袋	マスク	乳児用品
ロープ	毛布	粉ミルク・離乳食
ナイフ・缶切り	寝袋	哺乳瓶・携帯やかん・燃料
時計	レインコート	紙おむつ・おしりふき
ホイッスル	毛抜き・綿棒・爪切り	おんぶひも・防寒用品
レジャーシート	布ガムテープ	母子手帳

災害用備蓄品

救援物資が届くまでの間、自足するためのもの。水や食料は最低3日分、できれば7日分を目標に備蓄しましょう。

備蓄品
水(1人1日3リットル)
食料
燃料
ポリ袋
懐中電灯
携帯ラジオ
予備の電池
その他必要なもの